

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【公開番号】特開2015-87381(P2015-87381A)

【公開日】平成27年5月7日(2015.5.7)

【年通号数】公開・登録公報2015-030

【出願番号】特願2014-182507(P2014-182507)

【国際特許分類】

G 0 1 D 7/00 (2006.01)

B 6 0 K 35/00 (2006.01)

G 0 1 D 11/28 (2006.01)

【F I】

G 0 1 D 7/00 D

B 6 0 K 35/00 Z

G 0 1 D 11/28 A

G 0 1 D 11/28 L

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第一表示モード及び第二表示モードを含む複数の表示モードを切り替えて表示する表示装置であって、

表示面(31)を有する表示部材(30)と、

前記表示面に設けられ、前記第一表示モードにおいて表示される第一表示部(20)と

、  
前記表示部材に対し、前記表示面の向く正面方向(FD)に位置する第一偏光板(40)と、

前記表示部材の正面方向に位置し、前記第一偏光板に対して相対回転可能であり、前記第一表示モードにおいて前記第一偏光板とそれぞれの偏光方向(AX1, AX2)を実質的に揃えられる第二偏光板(60)と、

前記第一偏光板及び前記第二偏光板の少なくとも一方に設けられ、紫外光の照射によって発光する第二表示部(120)と、

前記第二偏光板の偏光方向が前記第一偏光板の偏光方向と実質的に直交する前記第二表示モードにおいて、前記第二表示部に向けて紫外光を照射する紫外光源(85)と、

を備えることを特徴とする表示装置。

【請求項2】

前記第二表示部の外周側に位置する外周部材(70)、をさらに備え、

前記外周部材には、紫外光の照射によって発光することで前記第二表示モードの表示を前記第二表示部と共に形成する外周表示部(71)が、設けられることを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項3】

前記外周表示部は、前記紫外光源の照射する紫外光により発光することを特徴とする請求項2に記載の表示装置。

## 【請求項 4】

前記第二表示部は、可視光を透過させることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の表示装置。

## 【請求項 5】

正面方向とは反対の方向に前記第二表示部を前記表示面に投影した仮想の投影像(120a)は、前記表示面に設けられた前記第一表示部からずれて位置することを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の表示装置。

## 【請求項 6】

前記投影像は、前記第一表示部と部分的に重なるようにずれていることを特徴とする請求項 5 に記載の表示装置。

## 【請求項 7】

前記投影像は、前記第一表示部に対し前記表示面の外周側にずれていることを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の表示装置。

## 【請求項 8】

前記第一表示部を発光表示させる表示光源(84)と、  
前記第二偏光板を回転させることにより、前記第一偏光板に対する前記第二偏光板の相對位相を変化させる回転機構(82)と、  
前記表示光源による前記第一表示部の発光、及び前記回転機構による前記第二偏光板の回転、を制御する制御手段(80)と、をさらに備え、  
前記制御手段は、前記第一表示モードから前記第二表示モードへと切り替える場合に、前記回転機構によって前記第二偏光板を回転させつつ、前記表示光源の発光輝度を上昇させることを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の表示装置。

## 【請求項 9】

前記制御手段は、前記第二偏光板の偏光方向が前記第一偏光板の偏光方向と実質的に直交するまで、前記表示光源の発光輝度の上昇を継続させることを特徴とする請求項 8 に記載の表示装置。

## 【請求項 10】

前記第一偏光板及び前記第二偏光板の間に位置し、前記表示面に沿って発光しつつ回転する指針(51, 451)、をさらに備え、  
前記指針の発光色は、前記第一表示モードから前記第二表示モードへの切り替えに伴って変化することを特徴とする請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の表示装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0011】

この構成では、第一表示モードから第二表示モードへの切り替えにより、表示装置は、正面方向に位置する視認者から視認可能な表示部を、第一表示部から第二表示部へと変更する。これら第一表示部及び第二表示部は、互いに異なる構成に設けられているので、こ

れら表示部の位置及び形状も、互いに異なるものとなり得る。故に、表示装置は、表示モードを切り替えた場合に、表示部が移動及び変形したかのように視認させることができる。したがって、表示モードの切り替えに伴う表示装置の表示の変化を明確に生じさせることができるようになる。